

思い出深い写真や人形には命が宿っています。ご僧侶のお経をいただいてご供養いたしましょう。



【日程】11月20日(日)  
【時間】10時30分～12時  
※右記の時間内に持参下さい  
【読経】12時よりご僧侶の読経があります  
【お預りできるもの】人形・ぬいぐるみ・写真・アルバム・御守など。  
※陶器やガラスケースはご遠慮下さい。  
【当日ご参加できない方】供養の品をお預りし、ご供養致します。まずは、お問い合わせ下さい。  
Tel 03-3302-6767

写仏会 しゃぶつえー (毎月開催)



お道具は準備してありますのでお気軽にお越し下さい。

【日程】平成28年11月4日(金)12月はお休みです  
平成29年1月はお休みです  
2月4日(土)3月4日(土)4月2日(日)  
【時間】10時30分～12時頃  
【費用】500円



Dr. ピア子のそうだったのね～

## タオルうさぎ

手芸好きのピュアメイトさんから頂いた**タオルうさぎ**の作り方。今回は最近見かけるふわふわのタオルで作ってみました。指先と頭を使うので、根気がいりますがとても可愛いですよ。休みながら、のんびりした気持ちで作ってみてくださいね。

ピュア子のおすすめ  
キャンドウ：マイクロファイバータオル(ホワイト)  
ダイソー：ふわふわフェイスタオル(アッシュピンク)  
ユザワヤ：プラスチックアイ(目と鼻)  
スーパーで木目調のアポカドダンボールをもらい垣根と小屋を作成



説明用にピンクの縁取りタオルを使用

- ①タオルを縦に置き、左右の端を中心に向かって折ります。縦に三等分検討をつけ、上  $\frac{1}{3}$  を手前に折ります。
- ②上部左右の角を縫い縮めてしぼり、耳を作成。
- ③耳下のタオルを内側に丸めてまとめ糸でかがり、顔を作ります。目と鼻を縫い付けます。
- ④下部のタオルの裾を広げ、左右の角をおおまかに丸くまとめ、糸で縛ります。  
●のあたりのタオルの中側へ○を入れ込み、外側から糸でぐるぐると巻いて、前足を作ります。
- ⑤前足と同様にタオルをつまんで糸をぐるぐると縛り、しっぽを作ります。
- ⑥余分なタオルは内側に入れ込みます。⑦うさぎらしい体形に整え、糸で数か所かがれば、タオルうさぎの出来上がり。



●編集後記

朝晩と日中の気温差が激しくなり、体調管理に気を使う季節ですね。実りの秋と言われるように、たくさんの食べ物が収穫を迎えますが、これからの時期身体を冷やしてしまう食べ物もあるんですよ。秋茄子・梨・リンゴ・柿など、旬の食物も食べすぎに要注意！自分の体調を意識しながら、実りの秋を満喫しましょう…。



ぴゅあめいる事務局からのお願い

日頃より「ぴゅあめいる」をご愛読頂きまして、ありがとうございます。お引越し等でご住所が変更になられた方は下記までお知らせ下さい。また、その他のお問合せやご連絡も「ぴゅあめいる事務局」までお願いします。

発行人：杉田フューネス「ぴゅあめいる」事務局  
所在地：東京都世田谷区上北沢4-33-3  
TEL. 03-3302-6767  
http://www.funess.co.jp



高橋是清邸 (明治35年)



明治から昭和にかけて活躍した政治家高橋是清の主屋。1936年2.26事件の舞台となった2階の寝室からは風情のある庭園が望めます。



前川國男邸 (東京都指定有形文化財)

今年世界文化遺産に登録されたル・コルビュジェの下で修業した建築家前川國男の邸宅。昭和17年戦時体制下の建築資材の不足を克服した美しさがあります。



■DETA  
東京都小金井市桜町3-7-1 都立小金井公園内  
電話番号 042-388-3300  
最寄駅 JR中央線「東小金井」「武蔵小金井」駅よりバス6分  
開演時間 4～9月 9:30～17:30  
10～3月 9:30～16:30  
休園日 毎週月曜日 月曜が祝日の場合翌日年末年始  
入園料 400円、65歳以上の方は200円  
駐車場 小金井公園駐車場をご利用下さい

古き良き時代にタイムスリップ！「江戸東京たてもの園」ゆつくりと時を刻んだ、懐かしい風景と出会うことが出来ます。季節を通して何度でも訪れたい場所です。

## 江戸東京たてもの園



天明家は、鵜ノ木村(現在の大田区)で名主を務めた旧家。実際に囲炉裏や竈に火がおこされ、炎と煙の香りが漂う中、お茶をいただきながらボランティアガイドさんのお話を伺うこともできます。



万世橋交番

天明家(農家) 江戸後期

「江戸東京たてもの園」

平成5年開園した野外博物館です。7ヘクタールの敷地には江戸時代から昭和初期までの30棟の建造物を移築・復元。そして武蔵野の自然を残しつつ街並や景観を再現。当時の暮らしや、下町の風情も楽しむことができます。ボランティアの方々が



# お葬式 That's 学

## お香の功德



どなたでも、お仏壇に手を合わせるときや、お墓参りに行ったときに、お線香をお供えされた経験はあるでしょう。



このお線香：ちゃんとした意味があつてお供えしていることご存知ですか？

お線香は、お香の一種です。お香にもたくさんの種類があり、お線香は直接火をつけて香るタイプに分類されています。

お線香の香りは、仏様に届くだけではなく、お線香をお供えした本人はもとより、その周囲すべてに行きわたる徳をもっているそうです。そして、その良い香りにより、人・場所すべての不浄を清める徳をもっています。ですから、身体や心の穢れを祓い、清浄な心で仏様にお参りするために、線香をたいているのです。

【常温で香る】匂い袋が代表。香料を刻んで調合したものが袋の中に入っています。

【間接的に熱を加える】火のついた炭を香炉灰の中へ、その灰の上に香木や練香などを置いて香りを楽しみます。

### 豆知識 お香典の由来

お葬式で出すお香典は、もともとは御霊前にお供えするお香のことでした。昔は不幸があるとお香を持参していたのですが、喪家側でお香を用意するようになったため、そのお香の代金として現金を包んで持参するようになったそうです。



また専門的なものとして、お葬式で使われる抹香もお香に含まれます。弊社社長は、「マイお香」を持っていて、葬儀に参列する際にはマイお香でお参りをさせて頂いております。

### 豆知識 お線香アレルギー

お線香アレルギーってあることご存知ですか？お線香の煙によつて花粉症のような症状を発生したり、ひどい方になると、喘息の症状を起される方もいるそうです。

線香アレルギーの原因は、お線香に含まれる物質に起因します。スギを主成分として作られているものや、化学物質の含まれているものなど様々です。アレルギーを起されたことのある方は、スギの成分を控え、天然の香木のみを使用したお線香などもございますので、購入の際にご相談されるとよろしいのでは…。

お香の原料となる香木は、漢方にも使われている素材が多くあります。近年ではその日の体調や気分によつて香りを使い分けながら、お香を楽しまれる方も増えてきました。皆さんも是非一度お楽しみ下さい。



### 講演活動



近年、葬儀への関心が高まり、専門家から話しを聞いたり、終活講座に参加されたりする方が多くいらつしやいます。弊社の社長や副社長も、各方面の方々より、葬儀についての話をしてほしい、終活講座の講師を勤めてほしい…という依頼を頂きます。

9月10日には、NPO法人エンディングセンターさんからの依頼で、終活講座の講師を務めさせて頂きました。



エンディングセンター主催「プロから学ぶ葬儀の知っ得情報」講師：杉田伊紗武

死について考える…ということは、生について考える…ということと同じです。自分の葬儀について考えるときに、自分がどう生きてきたのかを抜きにしては語ることができません。



駿台トラベル&ホテル専門学校 葬祭マネジメント学科課外授業 講師：杉田圭紫

また、毎年葬儀者を目指す専門学校の生徒さんが課外授業に来られるのですが、その際にも「心」のお話しをさせて頂いたりします。どのような場合でも共通することは「命の大切さを再認識する場がお葬式。大切な方との最期のひとときを後悔だけはしてほしくありません」という私たちの想いです。少しでも多くの方に聴いて頂けるよう、講演脚はまだ続きます。

# 杉田フューネスファミリーコンサート



コーラスは、男性6人女性6人の混声4部合唱です。練習はいつも額に汗を浮かべながら頑張っているのですが、その汗が冷や汗???ではないか…との疑問もあるんですね。



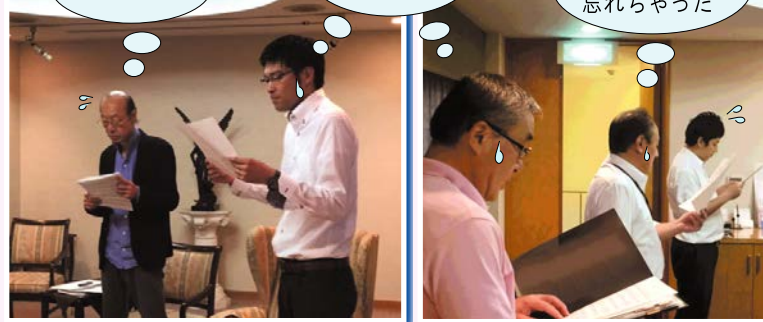
でも、現場へ向ける眼差しとはまた違う眼差しで、練習に取り組んでいます。

杉田フューネスでは、毎年暮れに、私どもとご縁を頂いた方々に、ひとときでも楽しい時間を…と、手作りのファミリーコンサートを開催しております。

俺、合ってるのかな？

前回やったのに忘れちゃった

解らないなあ



また、ハンドベルは1曲を4人のメンバーで演奏します。1人が担当するベルは、4〜8本くらいで、例えば、あなたはドとソとシの担当ね…！というように担当音が決まっています。

### 読者限定

ファミリーコンサート 先着10名様 招待

【日程】12月3日(土)  
【時間】午後1時〜3時頃  
【場所】セレモニールホールシオン  
世田谷区代田6-22-6  
井の頭線「新代田」駅  
徒歩5分 環七通り沿い  
【お問い合わせ】TEL 03-3302-6767

### 杉田伊紗武の

## ひとりごと

### 秋深し… お薦めの逸品

秋の夜長・食欲の秋・読書の秋と申しますが、今年も日本の美しい季節が訪れて参りました。今回のひとりごとは、読書を取り上げようと思います。ご紹介したい逸品は、



『平成紀』という小説であります。今から28年前、昭和天皇が崩御され、新しい元号に変わった時の事を、一人の報道マンの目を通して書いた話です。

おりしも本年、今上陛下がメディアを通じて、ご自身の気持ちをお伝えになられた報道が流れ、千年の時を超えての古いまじりなども含め、陛下のご心配なご様子も、多分にうかがえました。

ご崩御という事態に、その時官邸でどんな事が、どのように起こったのか…元号の始まりの大化から、脈々と受け継がれた昭和の次の元号は、国民が主権者の国となって初めて決められる元号であること。

だから、政府がその手続きをどのように進めたのかを国民が知る必要があること…大変興味の深い所であります。

当時テレビで小淵官房長官が『平成』と改元する事を発表したのは記憶に新しいものの、この元号は誰が考案したのか…という謎解き。また、その時の政府の知られざる思惑…



記者・編集者のただ唯一の情報財源は人間関係であり、人脈とよく言われますが、事の対象者たちに対する接し方、人間関係の築き方に、この本を書いた作者の人間柄がにじみ出ているとも思えます。多くの経験を源に、リアリティと臨場感を伴った読み進むにつれ、報道というもののについても、考えさせられる本でした。

秋の夜長…本を読みながらの感動は、この上ない喜びでもありますね。